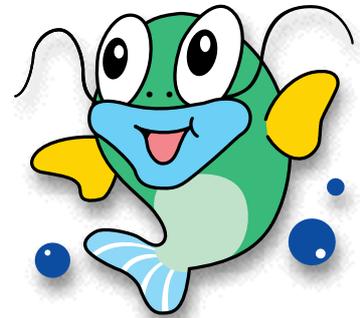


琵琶湖・淀川の 水の未来が見えてくる びよ BIYOセンター、オープン!

琵琶湖と淀川の水質浄化に関する技術的かつ実用的な知見を得るための新しい施設として建設省、滋賀県や水資源開発公団などが共同で進めていた「琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター（愛称：BIYOセンター）」が、7月31日、草津市志那町の琵琶湖岸にオープンしました。琵琶湖・淀川の湖や川の水がどうすればきれいになるのか、湖岸フィールドにつくられたさまざまな実験施設を通して研究・開発などが実施されています。また施設は一般にも公開されていますので、水質浄化の仕組みや新しい取り組みを実際に見ることもできます。



アクア琵琶のマスコット“ピワズ”くん

BIYOセンター：滋賀県草津市志那町地先（葉山川河口右岸前浜）
お問い合わせはTEL：06(202)1267
財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構まで



① わんど型実験

湖の岸に人工的にわんど（入江）をつくり、ヨシの成育の状況や、どんな生物が集まってくるのか、水質浄化の効果があるかどうかを調べます。

② 浅池型植生浄化実験

深さ30cmの水槽にクレソンやミントなどの植物を水耕栽培し、色々な条件の下で浄化実験をします。



③ 多自然型水路実験

自然の川に近い、石や土でできた水路に水生植物を植え、さまざまな生物の集まってくる様子や、水質浄化の効果を調べます。

④ ソフトエネルギー浄化実験

ソーラー発電を利用して水をくみ上げ、活性炭などのろ過フィルターを通し、浄化効果を調べます。

⑤ 土壌浄化実験

赤玉土や黒ボク土などのろ材で層をつくり、いろいろな条件で水を通して、浄化効果を調べます。

他にもいろいろな実験施設があります。

